

水稻害虫 (コブノメイガ)・除草剤について

今季の冬は比較的温暖な気候でしたが、三寒四温を繰り返しながらようやく春の気候になりつつあるように思います。春の訪れと共に水稻の準備も始まってくる季節となりましたので、今号では近年、注目度が高い害虫であるコブノメイガについて、また、新たに採歴となった除草剤を中心にまとめております。

また、様々な情報が飛び交う情報社会ですが、冷静に情報を取捨選択、判断して薬剤の選定等をお願いいたします。本誌もその一助になればと思いますので引き続きよろしくお願いたします。

1. コブノメイガについて

(1) 基本情報

コブノメイガはセジロウンカ、トビイロウンカと同様に海外（中国南部）からの飛来害虫です。

主に6月下旬～7月上旬に飛来し、その後2～3世代経過しますが、日本国内では越冬できず、毎年海外からの飛来が発生源となります。

卵は直径1mm程度の扁平楕円形で、幼虫は葉をつづって内部から食害し、食害された部分は白変します。イネの他にイネ科のアワ、エノコログサ、ヒエ、ジュズダマ、コムギ、オオムギ、サトウキビ、スズメノヒエ、イヌビエ、カラスムギ、ハダカムギを餌植物とします。

止葉を含む上位3葉被害、特に止葉への被害は収量・品質に影響する場合がありますので、コブノメイガ第2世代を対象に防除することが肝要です。また、登熟期以降の食害は収量・品質への影響はほとんどないとされています。



成虫



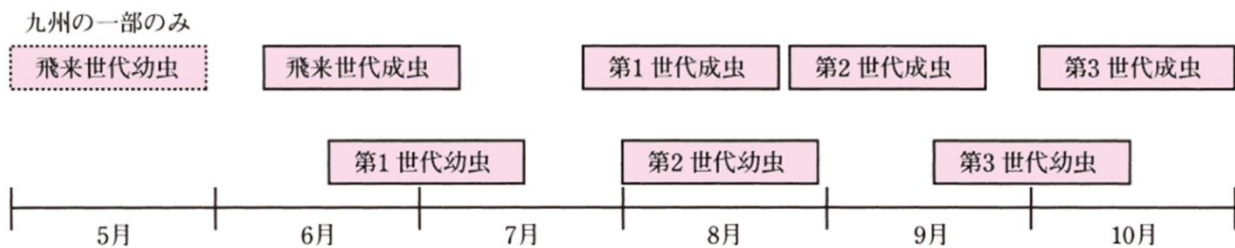
蛹



幼虫

成虫：約9mm、開張：約18mm、黄褐色で前翅に2本の黒い横すじがありその中間の前縁に接し黒点があり、後翅は1本の横すじとその内側に黒点がある。

幼虫：体長18mmで緑黄色で刺毛基部や気門の周囲は黒い。



(図) コブノメイガの発生時期

(2) 近年の動向について

コブノメイガが全国的に注目されるようになったのは1967年の異常発生からですが、近年はジアミド系薬剤が広く使用されていることが功を奏し、発生が減少傾向で続いていました。

しかし、直近の調査研究にて「ジアミド系のクロラントラニリプロール（フェルテラ剤）に対する感受性が低下している」との報告がなされました。

今後、ジアミド系を含む殺虫剤に対する感受性の低下した個体群が飛来するリスクがあり、防除体系を検討する必要があります。

(3) 総合的な防除体系の検討

まず最初に最重要害虫であるトビイロウンカ対策は必須であり、現時点では**ピラキサルト**の効果が卓越したものとなっています。

次にその他害虫の防除を考えた時、ニカメイチュウ、イネツトムシ、フタオビコヤガなどのチョウ目害虫やイネミズソウムシ、イネドロオイムシなどのコウチュウ目害虫の防除にはジアミド剤が効果的であり、ジアミド剤を使用しない場合、コブノメイガ以外の害虫による被害が拡大するリスクがあります。ですので、コブノメイガに対する感受性が低下しているとは言え、**ジアミド剤も上手に併用**しながら防除体系を考えることが重要となります。

上記の内容を踏まえた上で現時点で推奨する防除体系は以下の通りです。

【推奨する防除体系】

『**ピラキサルト+ジアミド混合剤**』の育苗箱施用剤 + **本田剤**での対応

(薬剤例) 防人箱粒剤 +

オーケストラロムダンモンカットエア



本田剤の防除タイミングについてもやはり最重要害虫はウンカ類であり、防除タイミングを外すと坪枯れ被害が拡大するおそれがあります。よって、まずはトビイロウンカの発生に合わせた防除を行うことが重要です。

しかし、害虫の発生消長や薬剤の動向などは常に変化していきます。その他効果的な防除体系の検討や新規薬剤の情報発信も引き続き行っていきますので、その時々に合わせて検討をお願いいたします。

2. 水稲除草剤の紹介

(1) サラブレッドGO (1 キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ・400FG)

- 4成分でSU抵抗性雑草や多年生雑草を含む幅広い草種に効果を発揮。
- ノビエを長期間抑制し、ホタルイやコナギ、オモダカ、クログワイ等の雑草に高い効果。
- 田植同時処理や直播水稲、WCSにも使用可能。



(2) トップガンR (1 キロ粒剤・豆つぶ250・ジャンボ・フロアブル)

- 4つの成分で一年生雑草から多年生雑草まで幅広く効果を示す。
- ベンスルフロンメチルが7.5 g/10a 配合。
- プロモブチドが90g/10a 配合され、SU剤抵抗性ホタルイにも安定した効果。
- 水稲に高い安全性を示し、田植同時や直播、飼料用米など、様々な栽培様式、使用法に用いることができる。



(3) プライオリティ (1 キロ粒剤・豆つぶ250・ジャンボ・フロアブル)

- 有効成分エフィーダ® (一般名フェンキノトリオン) を配合した2成分の混合剤。
- 雑草発生前～ノビエ 3.5 葉期まで卓効を示す。
- コナギやミズアオイ、オモダカ、ホタルイ、コウキヤガラなどの雑草に対して高い効果。
- 水稲安全性が高く、移植当日から使用可能。また、表面播種を含む直播栽培には種時から使用できる。
- 既存の4-HPPD阻害剤に感受性の高い飼料稲栽培時にも使用可能。

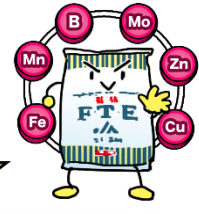


(4) ディオーレ (1 キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ・顆粒・エアー)

- 多年生雑草の地上部だけでなく、地下部も抑える除草成分「アルテア」を最大量10g 配合。
- ノビエの後発生と厄介なSU抵抗性雑草、そのどちらに対しても除草力を強化。
- ドローン向けに開発したエアー粒剤も登場。
- すべての剤型で直播水稲にも使用可能。



プラスα
マンガシリーズ
第137弾!!



微量元素入り肥料について!★

1 最近作物の品質が
いまいちだなあ
何が原因
なんだろう

土づくりは
されていますか?

2 微量元素欠乏かも
しませんね

微量元素は植物体の
必要量は少ないものの
土壌中に少ないと
欠乏症を引き起こし
やすい養分になります

3 微量元素欠乏
向けのおすすめ
肥料があります
その名も
FTE肥料です

微量元素を
バランス良く含んで
いる肥料だよ!

4 Dobeneckの要素樽

人間の栄養素と
同じように植物の
養分量もバランスが
必要なんです

5 そこで出て
くるのが
土壌診断
なのかな?

その通りです!
植物の前にはまず
畑の顔色を見る
必要があります!

微量元素はちゃんとやったよ?

微量元素欠乏って何?
肥料はちゃんとやったよ?

お近くの
JAにて
いつでも
ご相談
ください

その他微量元素
肥料も取り扱い
あります

土壌診断の
結果をみてから
FTE肥料を
選んでみよう
かな!

*引用： JA 全農 営農・技術センター 農薬研究室（コブノメイガ写真）、各メーカーHP より
 *4月号に記載されている内容はJA全農ながさきのホームページに掲載されています。
 JA全農ながさきホームページURL：<http://www.ns.zennoh.or.jp>